

第 13 回 情報技術研究会 参加報告

山浦 賢太郎 情報システム支援グループ

1. はじめに

平成 30 年 3 月 19 日（月）、20 日（火）の 2 日間にわたって九州工業大学飯塚キャンパスで開催された第 13 回情報技術研究会に参加した。本研究会は情報技術をキーワードとして技術職員が日常の業務で習得した知識やスキルを広く共有し、情報交換することを目的としている。大学や高等専門学校等から合計で 77 名の参加があり、うち 12 名が口頭発表を行った。

2. 研修内容

本研究会では口頭発表形式により技術や工夫を紹介する技術発表、口頭発表者と双方向の情報交換が行える意見交換、情報技術習得を目的とした演習が実施された。

技術発表は「ExtJS と Rails を連携させた業務依頼システムの構築」や「管理運営業務における OSS の活用」等、Web システム開発や業務改善に関連したテーマが多かった。業務依頼システムの構築では、業務依頼を全て、チームで開発した Web システムから受け付けるようにしたことで依頼件数が増えたとの報告があった。

筆者は図 1 に示す通り、「高専との専攻教職員交流集会に向けた参加申込及びアンケートシス

テムの開発」と題した口頭発表を行った。本発表は、本学電気電子情報工学専攻において開催された高等専門学校との教職員交流集会向けに、CakePHP2 により参加申込受付システム等を開発した事例紹介である。質疑応答では、CakePHP2 の脆弱性対策等について質問があり、意見交換を行うことができた。さらに、意見交換会では他大学における Web システム開発の取り組み事例について知ることができ、これによりドキュメント作りの重要性について学ぶことができた。

意見交換会では、Raspberry Pi 等のコンピュータボードの技術紹介や、Google for Education を使ったグループウェアの実現について技術発表を行った発表者らとの意見交換を行った。Raspberry Pi を IoT(Internet of Things)として活用する際に問題となる外部電源や、グループウェアとして Google for Education を導入した際に発生した問題についてどのように対処したのかなどといった情報を得ることができた。

演習・実習では、「FM ラジオ受信機で体験する ARM マイコンプログラミング」を受講した。ここでは、ARM マイコンの開発環境の使い方や、ハードウェアに即した C 言語プログラミングを体験することができた。

3. 研修成果

本研究会に参加して技術発表を行うことで、関連技術を取り扱う技術職員との意見交換を行うことができた。また、他大学等の技術職員による技術発表を聴講することで、他大学における取り組みについて知ることができた。

今回の研究会で得られた知見を今後の業務に役立てていきたい。



図 1 口頭発表の様子